

第4回 京都椎体骨折治療研究会の開催報告

平成30年6月23日（土）に第4回 京都椎体骨折治療研究会が開催されました。当日は雨天にもかかわらず20名以上の脊椎外科医が参加され、会員の先生だけでなくホームページを見て飛び入りで来られた先生もおられました。

今回は一般演題が3題と特別講演は堀川病院 副院長の茶谷 賢一 先生に、「脊椎に対する棘突起縦切片側切離進入法」について御講演していただきました。講演内容は腰椎椎弓切除から片側進入両側除圧、さらに棘突起から筋を出来る限り剥離しないことで、多裂筋などの脊柱筋の廃用性筋萎縮を予防し治療成績を向上するために棘突起縦切片側切離進入法の術式を考案されたことなどを説明していただき、京都府立医科大学の脊椎外科の歴史にふれた貴重な御講演でした。後半はテリパラチド投与が椎弓根スクリーの緩み予防に有効であった症例の紹介をしていただきました。御講演をいただきました茶谷 賢一 先生、特別講演の座長を務めていただきました宮本 達也 先生、一般演題の座長を務めていただきました小倉 卓 先生、また会の開催準備をしていただきました旭化成ファーマ株式会社の皆様には、この場をお借りしまして、深くお礼を申し上げます。



共催：旭化成ファーマ株式会社
京都・臨床脊椎グループミーティング